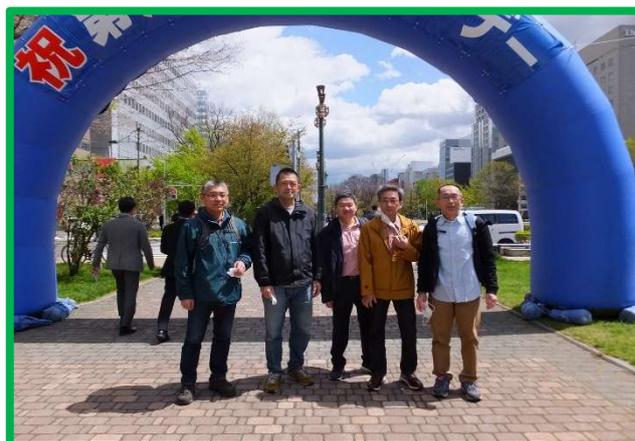


第94回全道メーデー



5月1日、コロナ禍の2020年以降、4年ぶりに大規模な集会形式での開催となった、第94回全道メーデーは、大通公園8丁目広場に3,000人(150団体)が参加し開催され、JR連合旗の下に貨物鉄産労・JR北労組の組合員が参集し、貨物鉄産労からは地区本部執行委員が参加しました。

メインスローガンに「支えあい・助け合う社会をつくり、くらしをまもる！笑顔あふれる未来をめざし力を合わせ、ともに進もう！」を掲げ、式典では連合北海道杉山会長が、「2023春闘は、持続的な賃上げに向けたターニングポイントと位置付けた春闘であり、円高や物価高による厳しい環境下での交渉も想定されるが、2024春闘につながる交渉の成果と交渉結果を残さなければならない」と挨拶がありました。

来賓として、土屋北海道副知事、秋元札幌市長、徳永連合北海道国会議員団会談会長、池田まき前衆議院議員が挨拶をおこない、その後、メインスローガンとメーデー宣言、ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める決議・性的指向や性自認に関する差別を禁止する法律制定を求める決議の二つの特別決議案が採択され、団結ガンバローを三唱し、札幌市内を3つのグループに分かれてパレードを行いました。参加者はメーデー終了後、機関会議を開催し、その後、場所を移して懇親会をおこない、今後の奮闘を確認しました。

当日は北海道の5月とは思えないほどの晴天の中での開催となりましたが、季節は春から夏へと移っていき、熱中症が発生しやすい時期となります。注意喚起をしても毎年のように熱中症労災が起きており、自分のことは自分で守るしかありません。体調に異変を感じたら、我慢しないですぐに休むことを心掛けましょう。

交運共済⇒こくみんcoopへの契約移転について、
不備が無いようご確認お願い致します。